

金融市場NOW

国際特許出願件数 アジア過半数に

WIPO事務局長「2年以内に中国が米国を抜く」と予測

- ▶ 世界知的所有権機関（WIPO）が発表した2018年の国際特許登録の出願件数はアジアが躍進。
- ▶ AI関連などを中心に中国の勢いが増す。最先端技術を駆使するインド企業の出願増加も目立つ。
- ▶ トランプ米大統領は技術革新で急速に力をつける中国に対し、より一層警戒心を強める可能性も。

世界知的所有権機関（WIPO）が3月19日に発表した2018年の国際特許登録の出願件数は、アジア諸国・地域が初めて出願件数全体の5割を超えました。中国が前年から9.0%増の5万3,345件となり（図表1）、アジア全体をけん引しました。中国の習近平指導部が、2015年5月にハイテク産業に巨額の補助金を投じる「中国製造2025」計画を掲げて以降（図表2）、人工知能（AI）関連などを中心に中国の勢いは増しており、直近ではトップである米国に迫っています。WIPOのガリ事務局長は、『このままいけば2年以内に中国が米国を抜く』と予想しています。

また、インドの出願件数の増加も目立っています。インドは2018年に1,200社を超えるスタートアップ企業^{*1}が生まれ、現在は7,700社を超える企業が活動している^{*2}とされています。モディ政権が国策として掲げる「デジタル・インド」の後押しもあり、「IoT（モノのインターネット）」など最先端技術を駆使する企業が増加しており、これらの企業の特許出願が多かったこともあるとみられます。

^{*1} 新しいビジネスモデルなどで急成長をめざす企業のこと。

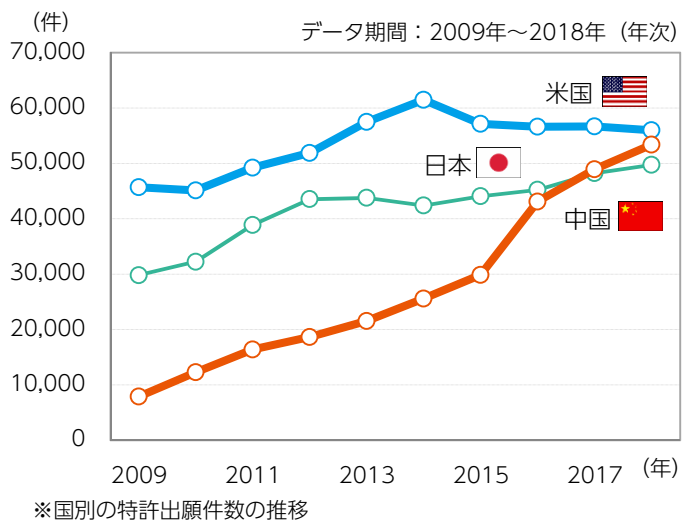
^{*2} インドIT業界団体（NASSCOM）公表のレポートより

個別企業で見ると、中国通信機器最大手、華為技術（ファーウェイ）を筆頭に、上位10社のうち6社を日中韓の企業が占めました。トランプ米大統領は中国の米国企業に対する知的財産権の侵害について批判をし、2018年は中国製品に対し度重なる制裁関税を課しましたが、技術革新で急速に力をつけてきた中国に対し、今後はより一層警戒心を強めることが予想されそうです。

（注）当レポートは個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

出所）図表1はWIPOのデータ、図表2は各種報道等をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表1：中国がトップである米国に接近する



図表2：中国は次世代情報技術を中心に力を入れている

中国製造2025
次世代情報技術（次世代通信規格「5G」、半導体）
高度なデジタル制御のロボット・工作機械
航空・宇宙設備（大型航空機、有人宇宙飛行）
海洋エンジニアリング、ハイテク船舶
先端的鉄道設備
省エネ・新エネ自動車
電力設備（大型水力発電、原子力発電）
農業用機材（大型トラクター）
新素材（超電導素材、ナノ素材）
バイオ医療・高性能医療機械

※「中国製造2025」の概要

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>